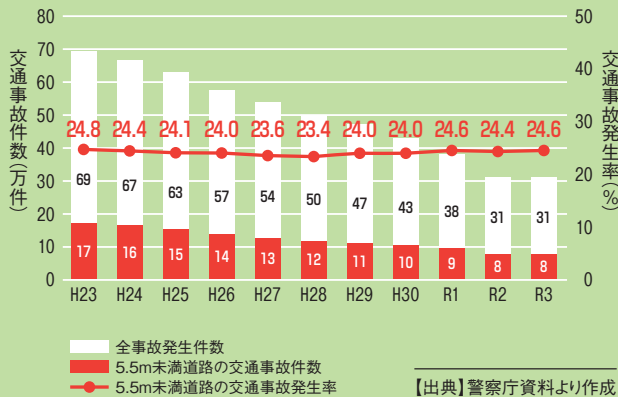


# 生活道路における交通事故の現状

## 交通事故発生件数と車道幅員5.5m未満道路の交通事故発生率の推移

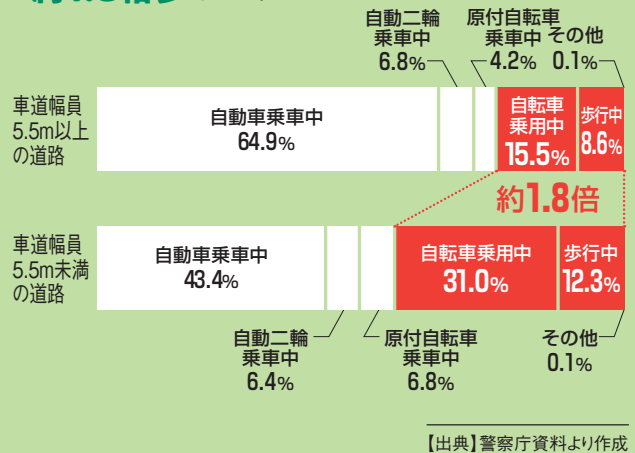
全国における交通事故(人身事故)発生件数は年々減少していますが、

車道幅員5.5m未満の道路における**交通事故発生件数の減少率は鈍化**しており、全事故発生件数に占める割合は横ばいで推移しています。



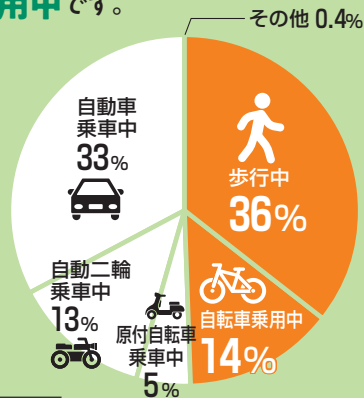
## 車道幅員別・状態別交通事故死傷者数(令和3年中)

車道幅員5.5m以上の道路における歩行者・自転車乗用中の死傷者の割合と比較して、**車道幅員5.5m未満の道路は約1.8倍多い**です。



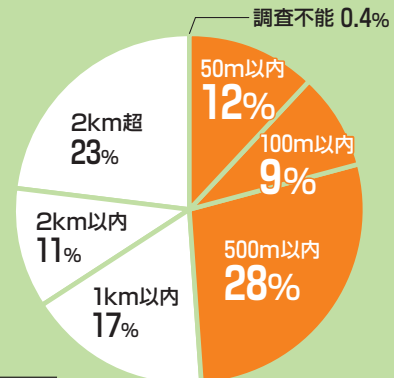
## 交通事故死者の状態別割合(令和3年中)

交通事故死者数の約半数が**歩行中・自転車乗用中**です。



## 自宅からの距離別死者数の割合(令和3年中)

歩行中・自転車乗用中の交通死亡事故の、約半数は**自宅から500m以内**で発生しています。



## 自動車等の速度と歩行者の致死率

自動車等の速度が30km/hを超えると、歩行者の**致死率が急激に上昇**します。

【出典】警察庁資料より作成

- ※1 「自動車等」とは、自動車、自動二輪及び原動機付自転車をいう。
- ※2 平成29年から令和3年までに車道幅員5.5m未満の道路の単路で発生した人対車両事故の分析による。
- ※3 致死率とは、死傷者数に対する死者数の割合をいう。

